



たくましく ゆたかに 大地を吹く 風になれ

simba 獅子波

ナイロビ日本人学校
The Nairobi Japanese School

P.O. Box 948 -00502 Karen Nairobi Kenya

Tel : 0746 - 978 - 378

E-mail : njs.main@gmail.com

2025年度 1月号

No. 9

あけましておめでとうございます

校長

児童生徒の皆さん、保護者の皆様、それぞれの想いで令和8(2026)年を迎えられたことと思います。毎年、新年を迎え校長として思うことは、全校児童生徒が健やかに新しい年を迎えられたかな、ということです。保護者の皆様は、お子さん達と一緒にどのような新年の決意や目標、めあてなどについて話をされたのでしょうか。

さて、新年にあたり教育や躰について考えてみました。若い頃に先輩教員から学校での教科指導や躰は、東京タワーのらせん階段を上がっていくような指導が大切だと先輩教員から教わりました。その後、実際に東京タワーに行き、その意味がよく分かりました。らせん階段は、高さ150mの展望台まで続く約600段の外階段があります。そこを一步ずつ踏みしめ、都内の様子を見ながら上がっていくと、同じ景色を何回も見ることと、新しい景色を見ることで感動が倍増していく思いでした。心に残る教科指導や躰は、らせん階段を上がっていくような、ステップアップしながらの繰り返しがとても重要だと実感できました。ナイロビ日本人学校は、東京タワーのらせん階段を上がっていくような指導や躰、「教科担任制と複式指導等」を、教職員がONE TEAMとなり目指しています。

新年を迎えるにあたり、令和7年4月から12月までの、らせん階段を上がってきた児童生徒の様子をいくつか紹介したいと思います。

- ①4月、イングリッシュタイムです。各レベルのクラスでしっかりとした英語指導が実施され、児童生徒がとても楽しく受けていました。

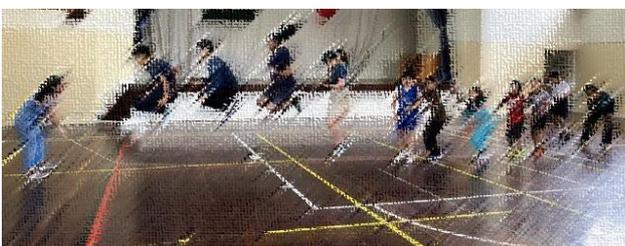


② 5月、ふれあい祭りに向けて、豊作を願って畑づくりから行いました。教職員も師弟同行の精神で児童生徒と一緒に汗を流し、畑を耕しました。



③ 6月、運動会へ向けて、児童生徒が一丸となって取り組み、上級生は下級生にしっかりと寄り添い、やさしく教えていました。運動会当日は、最高の演技ができました。

④ 7月、2学年が同じ教室で同じ教科の授業を行う教科担任制・複式指導の充実が図られ、真剣に授業に取り組む姿がとても立派に感じられました。



⑤ 8月、健康部が開催するなわとび大会では、児童生徒が一丸となって一生懸命に取り組む姿が最高でした。この活動は、体力だけでなく、コミュニケーション力を高めるよい活動だと思っています。

⑥ 9月、持久走記録会に向けて、小学1年生から中学3年生までが一緒になり、各自の目標に向かって精一杯頑張っている様子は、ナイロビ日本人学校ならではの練習風景でした。





⑦ 10月、学習発表会に向けて、児童生徒自身でテーマを決め、意思統一を図る様子は、さすがナイロビ日本人学校の取り組みだなと思いました。発表会終了後は、成就感があり、校長として最高に嬉しかったです。

⑧ 11月、今月実施される書初め・百人一首大会に向けての説明会では、一人一人が真剣な眼差しで聞き入っていました。きっと素晴らしい大会になるはずで



す。



⑨ 12月、お別れの会が開催されました。転校生を全校児童生徒で囲んで歌を歌ったり、花道を作ったりして、再会の約束を誓っていました。本校を去る児童生徒には全員行っている、素晴らしい儀式だと毎回感じています。

令和8(2026)年も昨年同様に、らせん階段を上がっていくような指導を大切にしていきますので、保護者の皆様方には、本校の教育活動にご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

本当にいつもありがとうございます。

子どもたちの「新年の抱負」

1日2時間の勉強をし、一か月に2冊本を読みたいです。また、人と日常会話ができる程度の英語力までに伸ばしたいです。そして、新しい環境に変わったとしても少しずつ慣れていき、自分自身と向き合っていて、やりたいことを見つけたいです。

新しい人たちに出会って、楽しい思い出を作ったり、勉強も頑張ったりしていきたいです。寮の生活もなれて、自立した人になりたいです。

新年の抱負は、高校に向けての準備のための心構えを身につけることです。

一つ一つやることに真剣に向き合い、真剣に取り組む。

私の今年の抱負は、高校受験に向けて中学三年間の学習内容を確実に定着させること、そしてより多くの人と関わり視野を広げることです。そのために、毎日の予習・復習を徹底し、授業で分からない点は積極的に質問するなどして、疑問をその日のうちに解決するよう努めます。また、行事や委員会活動などにも積極的に参加し、周囲とのコミュニケーションも大切にしていきたいです。

今年大事にしたいことは二つあります。一つ目は、引き続き勉強を頑張ることです。これまでの学習習慣を大切にして、毎日の予習復習をコツコツと続けていきたいと思います。二つ目は、忘れ物を減らすことです。前日の夜に時間割と持ち物をしっかり確認する習慣をつけて、忘れ物ゼロを目指したいです。

今年大事にしたいことは、十分な睡眠時間を確保しながら、勉強にしっかり取り組むことです。夜遅くまで無理をするのではなく、早めに寝て体調を整え、その分日中の時間を集中して勉強に使いたいと思います。テスト前だけでなく、普段からコツコツと学習を続けて、メリハリのある生活を送りたいです。

今年大事にしたいことは二つあります。一つ目は、色々な場面で勇気を出して行動することです。失敗を恐れずに、新しいことにも積極的に挑戦していきたいです。二つ目は、物事の優先順位をしっかりと考えることです。遊びたい気持ちが強いときでも、勉強などやるべきことを先に済ませられる自分になりたいと思います。

私の新年の抱負は、発言を増やすことです。学習や生活の中でも発言の数が少なかったため、同じ注意をされることがありました。これから中学生に向けて成長するために、発言が多くできている人のように判断などを早くしたり、初めは、順番では2～3番目くらいに意識して発言をしたいです。

私の今年の目標は、様々な視点で物事を見ることです。視点を変えることで、ネガティブをポジティブに変えることができます。私は、人の意見を素直に受け入れることが苦手です。だからこそ、いろいろな角度で物事を見ることを忘れずに、友達とさらにより関係を築きたいです。この目標を常に忘れず、2026年を過ごしたいと思います。

僕の今年の抱負は「瞬発力を強化する」です。前までは、最後の方は早く発表するのを頑張ったけど、まだ習慣づいていなくてとてもきつかったし、まだまだ早さが足りなかったのがこれからたくさん挑戦して習慣づけて調えたいです。学習面では、英語力を強化したいです。なぜかという、パープルヘイズにいるケニア人の人に話しかけられたときに、何を行っているのか英語がわからなかったのもっと英語を喋れるようになりたいし、英検2級にも受かりたいからです。

今年の抱負は、バスケットで仲間と最高の試合をすることです。最後のみんなとの試合だからこそ、一分一秒を大切に、声を出して支え合い、全力でプレーします。また、試合で使った集中力や粘り強さを勉強にも生かし、何事にも本気で取り組める一年にしたいと思います。そして自分自身の成長につなげます。

今年の抱負は、人を動かすことです。去年はアウトプットを目標にして、意見を伝えたり発表したりすることを積極的にしました。だから、今年はさらに成長するために新しいことに挑戦しようと思いました。皆が発言できるようサポートしたり、間違っていたら声かけしたりするなど高め合える1年にしたいです。

僕の新年の抱負は「提出物の見直し」です。去年は一回目を適当にやってしまい、あとからやり直さなければいけないことになるのが何度もありました。最近は、適当だと心がもやもやし、やり直すようになりました。これでは二回分の時間ももったいないので急がば回れで最初からていねいにするようにし、習慣づけていきたいです。

私の今年の新年の抱負は、2つあります。1つ目は、「英検2級合格」です。そのために、覚えた単語を書き出し、一日ごとにテストをしたり、英語学習アプリを毎日したりしたいです。2つ目は、「細かいところに気を配る」です。そのために、周りを見る習慣をつけたり、けてぶれや宿題で、最後に全体を確認したいです。そしてもし間違いが見つかったら、すぐに直したいです。

私の今年の抱負は、「英検準一級、一級合格」です。もちろんこれだけではありませんが、この試験に臨むときの覚悟が他の大事な目標につながると思ったからです。例えば、真剣に勉強すればやる気も出るし、大嫌いな勉強に少しでも慣れることができると思ったからです。それに、英検も頑張って合格したいとお思っているので、今年は英検の勉強を頑張りたいと思います。

今年一年、私はみんなと協力して優しい心を持ちたいです。なぜなら、みんなと協力したら楽しいことも、悲しいことも、みんなと一緒にやれば何でもできることがわかったからです。

今年1年、僕はみんながにぎやかで学校が大好きになるようなクラスを保ち続けることを頑張りたいです。

今年1年、僕は字を綺麗に書くことを心がけます。ほかに集中する意識や、我慢する力をつけたいです。そのために日々の生活でも我慢したり字を綺麗にすることや、集中することを心がけます。

今年一年、整理整頓ができる自分になりたいです。そのために心がけることは3つあります。

- 1つ目は筆箱の中が常にきれいである。
 - 2つ目は机の中が整理整頓されている。
 - 3つ目はロッカーの中がパンパンではない。
- この3つのことを心がけて一年過ごしたいです。

今年の一年の目標は、進んで勉強することです。私は算数が苦手という気持ちがとても強いので、「自分なら出来る」という前向きな気持ちで、普段から取り組んでいきたいです。

今年一年、僕はみんな平等に優しい声かけをしたいです。例えば「さん」付けするなど心掛けて今年一年を過ごしたいです。

私は、あまり怒らず優しく話しかけることを頑張りたいです。私は、ネガティブになりやすいのでそこをなんとかしたいです。

僕がこの年にやりたいことは、この一年でさらに新しく来る子がいたりしたら仲良く楽しく、そんな一年にしたいです。そのために、誰でも楽しく遊んだりしてあげます。

私は、今年一年で、授業の中で、大きな声で話せるようになりたいです。そのために、日々、授業中に間違ってもいいから、発言をしたいです。

かん字や文字をきれいに書く

国語と英語をがんばりたい

漢字を上手に読んだり書いたりする

一日を楽しく過ごす

日本語をがんばる

たいいくをがんばる

すべてのじゅぎょうをがんばる 一年げんきにじゅぎょうをがんばる

さんすうとこくごをがんばる

ふれあいまつりがんばる うんどうかいがんばる

たいいくをがんばる

こくごをがんばる

ふれあい祭り ふりかえり

去る11月15日(土)に、ふれあい祭りが開催されました。本校の子どもたちは、年度初めから計画してきた大根販売や、和太鼓と踊りをがんばりました。そのふりかえりを紹介します。

小4児童

今回のふれあい祭りで僕が身に付けた力は二つあります。1つめは「団結力」です。大根はんばいのときに、みんなでポスターとねふだを作りました。みんなでやったら上手にできたから「団結力」がきたえられたと思います。2つめは「せんでんの力」です。大きな声をだしてみんなでせんでんをしました。すぐに売り切ることができました。来年はもっともっと大きな声を出して、100人くらい人をよびたいと思います。

私が今年のふれあい祭りで、一番頑張ったことは太鼓です。太鼓でがんばったことは2つあります。1つめに頑張ったことは、メロディーに合わせることです。先生に「おくれてもあせらない。」と何度も言われ、頑張りました。2つめに頑張ったことは、ソロパートです。先生に何度もアドバイスをもらい、なめらかにできるようになりました。これからいかしたいことは「あきらめない」ことと「あせらない」ことです。来年も頑張ります。

今回のふれあい祭りでがんばったことは2つあります。1つは「考動」です。ふれあい祭りで大根をつつむとき、最初はあまりお客さんが来なかったけれど、途中からたくさんの人たちがきて、つつむのに必死だったけれど、3人で協力して自分にできることを考動できました。2つめは「けいぞく」することです。わたしは、学校でも家でも太鼓をけいぞくしてやったことと、音楽や国語でもたくさん練習をしてがんばりました。これからもけいぞくしてがんばりたいです。

今年度のふれあい祭りで身に付いたことは、2つあります。1つめは、記憶力です。理由は太鼓のたたき方を練習しているうちに少し記憶力が高くなったと思います。

2つめは集中力です。理由は、太鼓を練習しているとき、先生に「集中していない」と注意されました。それがきっかけで集中力が高まったと思いました。



ぼくは、ふれあい祭りでがんばったことは2つあります。1つめは、たいこです。理由は笑顔で、強くたたいてお客さんにもちゃんと聞こえるくらいの音を出しました。2つめは、大根とかの料理を販売してお客さんが笑顔になったことです。その理由は、ナイロビ日本人学校の子どもたちが笑顔や大きな声をだして、お客さんが「行きたい」とか「後で行くね」と言ってくれました。100人くらいのお客さんや、お母さんやお父さんも買ってくれました。うれしかったです。

今年のふれあい祭りで身に付いたことが2つあります。1つめは、はんだん力です。太鼓のメンバーで話し合い、曲に合う方法を考えました。そのとき、どちらをゆうせんするかでけんかをしましたが、けっきょくは仲直りできました。2つめは、説明力です。話し合いのときに、自分の意見の理由を説明しました。相手の説明を聞くことで、説明力もあがりました。ふれあい祭りで身についたはんだん力と説明力は、これからの生活（家や学校）にいかしたいです。

中1生徒

今回、ふれあい祭りでは栽培活動を最もがんばりました。栽培の環境作りでは、毎日、畑に行き、耕やしたりしました。育成に関して、議論する際は目的を達成できるように条件に合わせて育てる野菜を選んだり、どのようにしたら、全学年で行えるかを考えました。種植え後も、しっかりと畑に行き、少人数だと大変なので、呼びかけなどを行って多くの人で効率良く、水やりを行えました。本番は企画部で作ったチラシを配ったり、工夫して宣伝することが出来ました。このように多くのことが出来ました。ただ、出来無い事もありました。例えば、早くから多人数で効率良く作業を行うために工夫を早く取り入れることや、宣伝で後半固まっていたので後半までバラけて宣伝するなど多くのことが出来たと思います。この課題を来年のふれあい祭りで解決してよりよい祭りにします。

私はふれあい祭り当日、ものすごく緊張していました。なぜなら、大根はしっかりと収かくして売れるかどうか、ダンスは上手におどれるかなどという気持ちがあったからです。ですが、みんなが頑張って収かくしてきれいに洗ってくれたおかげで、大根は十分くらいで完売しました。さすがに私も驚きました。また、ダンスでは音が止まることなく上手におどれました。ですが、大根を販売する時に、配分を間違えてしまってレジ担当が私一人でめっちゃくちゃ大変でした。ですが、先生たちが協力してくれて、買ってくれる人が大根を買うたびに笑顔でさっさと行っていったのでそのおかげで頑張れました。

次回のふれあい祭りでは、配分を間違えないように頑張ります。また、今年はあまり立派な大根をたくさん収かくできなかったの、改善点を探し、改善していきたいです。

私は今年のふれあい祭りの音楽発表でストリートオブソーランを踊り、ダンスのリーダー係になりました。その中で大変だったことは、練習中に皆の動きを見て指示したり、お手本の振りをそのまま踊るか、オリジナルにするか判断をすることが難しかったです。体力面的には運動会と違い、大きな声を出しながら踊るといのはしんどかったですが、それでも本番でも一生懸命声出しが出来ました。

印象に残った楽しさは、本番直前に皆の前で今までのことを振り返りながら話して、他のリーダーも話す事によって、皆の気持ちが一感になっている雰囲気を感じて「やりきるぞ！」というやる気と嬉しい気持ちが湧き上がってきました。これが私の印象に残った思い出です。

今後生かしたい事は、日々でも役職に就かなくても皆をまとめたりして、今回身に付けた事を生かしていきたいです。



2025年6月、家族でケニアのカンバ族に伝わる結婚の伝統儀礼に参列しました。声をかけてくださったのは、北海道でALTをされている先生です。先生のお兄さんがご結婚されることになり、先生のご家族も、もううちのファミリーだから、と誘って下さいました。さらに話が進み、せっかくだから新郎新婦と同じ柄のキテンゲで衣装を作ろう、ということに。深いグリーンを地にして、黄色から金色の小さな四角がびっしり散りばめられた柄でした。その布で仕立てた服を着ると、不思議なことに、写真の中で私たちも自然にその場の一員に見えるのです。

準備の段階で、まずケニアらしい時間感覚の洗礼を受けました。採寸も済ませ、代金の一部も支払い、月曜日にはできるからねと聞いていた衣装が、月曜日も火曜日も届かない。ダウリーの前日になってようやく夕方に届いたと思ったら、娘と妻のドレスは小さくて着られず、そこから作り直しになりました。日本の感覚だと青ざめる展開ですが、周りの皆さんは大丈夫、大丈夫と笑っている。こちらは内心ずっとハラハラしていたのに、最後は本当にどうにかなる。あの空気に救われました。当日は家族全員がおそろいのキテンゲ姿で参列でき、会場の方から本当の親族みたいだねと言われたときは、嬉しさと可笑しさが同時に込み上げて、家族で笑ってしまいました。



6月6日の朝7時、まだ肌寒いナイロビを出発し、マチャコス方面へ。舗装道路がいつの間にか赤土の道に変わり、家の数が減っていく。畑と木々が広がり、ところどころにヤギの群れも見えました。まず向かったのは、マチャコス郊外イティシニ村にある先生のご実家です。実はここは、去年のクリスマスや今年のイースターにもお邪魔している場所で、私たちにとっても少しずつ「ただいま」と言いたくなる家になってきました。いつもの笑顔に迎えられ、ほっとひと息。そこで新郎となるお兄さんにも挨拶をして、今度は儀礼が行われるマクエニ方面へ向かいます。道中は新郎新婦と同じ車で、窓の外の景色も会話も、どこか冒険の続きを走っているようでした。

花嫁側のお宅に着いてまず圧倒されたのは、結納品の物量です。ヤギは十数頭、牛は4頭。ジュースやお菓子は箱の山で、果物や野菜も運んでも運んでも終わらない。極めつけは水を積んだ大きなタンクで、何トンあるのだろうと思うほどでした。これらを敷地に運び入れるだけでも一仕事。そのあとに始まったのが、カンバ族で「ンガーシア」と呼ばれる、両家の大切な話し合いです。花嫁側が事前に示していた条件や持参品のリストをもとに、花婿側がどう応えるかを言葉で確かめ合っていくのですが、真剣な場面なのに空気は硬くなりすぎません。笑いが混ざり、周囲がうなずき、少しずつ合意点が形になっていく。さらにありがたかったのは、本来は親族だけが入るような場面に、日本から来たゲストの私も「ぜひ文化を見てほしい」と部屋まで案内していただいたことです。息づかいの近い距離で家と家が結ばれていくのを見ながら、娘を持つ父親として胸が熱くなりました。儀式の合間には、カンバ族の伝統的な発酵飲料カルヴも少し味見させてもらいました。蜂蜜とソーセージツリーの実を使ってつくられるそうで、ほんのり甘く、どこか薬草酒のような香りがあります。健康にいいんだと勧められた直後に、飲みすぎたら体に悪いよとも言われる。その落差が、なんだか人間らしくて、思わず笑ってしまいました。





日が落ちるころ、空気は一転して前夜祭の顔を見せ始めます。DJが夜通し爆音で音楽をかけ続けると、誰かが立ち上がり、気づけば老若男女が次々に輪に入って踊り出す。私たちも様子を見ながら、ときどき輪の中へ。踊りは上手い下手ではなく、場に混ざった者勝ちでした。敷地の片隅ではシェフの方々が翌日に向けて大量のごちそうを黙々と仕込み、鍋のふたが開くたびに香りが流れてきます。焼きたてのチャパティがあまりにもおいしそうで、つい、こっそり一口だけ。あの焼きたての美味しさは反則でした。

翌日は、大きな祝いの日。敷地には親戚、近所の方々、友人、そのまた友人まで、とにかく多くの人が集まり、ざっと見ても三百人近くはいたと思います。新郎新婦の入場を待つあいだ、昨晚から仕込まれていたごちそうが先に振る舞われました。テントの下に鍋がずらり、お皿も山。白いご飯に豆の煮込み、こってりした煮込み料理、野菜のおかず、キャベツのサラダと赤いスイカ。中でもヤギのスープが最高で、香りがよくて、飲むと体の芯がほどける感じ。妻も娘もひと口でにっこりして、これは当たりだね、と小さくうなずいていました。



そのあとスピーチがあり、歌があり、ドラムが鳴ると、いよいよ入場です。新郎新婦の入場は別々でしたが、私たち家族は新郎の入場行列に加わり、しかもほぼ先頭のあたりで踊りながら進むことになりました。娘も妻も、気づけば現地の輪に混ざって笑いながら踊っていて、おそろいのキテンゲ姿が効いたのか、こちらの親族みたいに自然に受け入れてもらえたのも嬉しかったです。贈り物の時間には、人々が一列になって新郎新婦へ手渡していきます。私たちもピンクの包み紙で包んだクッキーを持参しました。すると新郎新婦がそれをととても大切そうに抱え、さらに修道女の装いの方がそっと手を添えて、ありがたそうにお祈りを始められました。その瞬間、こちらは思わず背筋が伸び、「あ、これは想像以上に丁重に扱われる贈り物なのだ」と、少しだけ慌てました。中身がクッキーだと分かっているのは私だけですから、なおさらです。もう少しきちんとしたものを用意すればよかったかもしれない、と小さな反省がよぎり、気恥ずかしさに頬が熱くなりました。



この二日間は、私にとっても妻や娘にとっても、間違いなく一生ものの思い出になりました。日本で当たり前だと思っていたやり方も、外から見れば一つの文化にすぎないのだと、あらためて教えられた気がします。段取りはわりとポレポレでしたが、不思議とそれが心地よくもあり、人が自然と集まり皆でとことん祝う空気には別の豊かさがあるのだと実感しました。7月に日本へ一時帰国したとき、動画や写真を家族に見せると、みんな「え、これ本当に結婚式なの？」という顔で驚いて声まで出していて、その反応を見ているうちに私の中でもあの日の空気がふっと戻ってきました。ケニアでの出来事を日本の家族にも少しだけおすそ分けできた気がして、それが嬉しかったです。こうした体験は、文化の違いを「面白い」と感じる気持ちを思い出させてくれました。授業や学級活動の折に、話の小さな材料として使わせてもらうことがあるかもしれません。ケニアに派遣されていなければ一生ご縁のなかったであろうこの場に、家族ごと温かく迎え入れてくださった先生のご家族をはじめ、関わってくださったすべての方々に、心から感謝しています。



音楽の授業の様子

音楽科

～音楽を楽しく学ぶ～

今年度の音楽の授業では、**音楽を楽しく学ぶこと**を意識して授業に取り組んでいます。

ワトトでは、身振り手振りなどの身体表現を取り入れた表現活動を、キジャナでは、言語とアイデアを意識した能動的な表現的グループ活動を、ラフィキでは、ターゲットとなる事柄の背景を知る一歩踏み込んだ協働的な学びを、中学部では、ある事柄をそれぞれの角度で捉えてみる、共有する協働的な学びを学習クラスごとのテーマとして子ども達と一緒に取り組んでまいりました。子どもたちは、豊かな感性や想像力を働かせながら、学習に取り組んでいます。



～様々な関わりの中で音楽に携わり、表現する活動や経験をしよう～

始業式や終業式、歓迎会、お別れの会という節目の行事や、運動会や学習発表会、ふれあい祭りといった季節の行事を通して、子たちで練習したり、話し合ったりしたりしながら、もっている個々の能力を引き出して、協力して才能を発揮してくれました。

～次のステージに向かって～

音楽は、古代ギリシャの時代より今日に至るまで、人が人として、より豊かな人になるために必要だとされてきました。子どもたちがナイロビ日本人学校を卒業したあとも、未来に向かって歩み続けられる人へと育ち、世の中へ羽ばたいていってもらえるよう努めていきます。



1月の行事予定

日にち	内容
5日(月)	冬季休業(終)
6日(火)	冬休み明け集会
7日(水)	身体測定(体育着登校)
12日(月)	書初め・百人一首大会
13日(火)	水泳教室①
15日(木)	キャンプ学習(小3~小5)【~16日(金)まで】
20日(火)	アフリカ学習(予定)
21日(水)	水泳教室②
22日(木)	ジャリブ
23日(金)	特別清掃・PTA役員会/学校運営委員会
24日(土)	親子スポーツ
27日(火)	児童生徒会・校長講話&懇談会
28日(水)	水泳教室③
31日(土)	漢字検定

